

社会福祉法人 光の里

多機能型事業所「ワークショップいまかね」(瀬棚郡 今金町)

○基礎情報【経営形態：原木しいたけ生産、加工販売、パン等製造販売】

【従業員：17名、事業所利用者：41名（知的障がい者など）】



〈問い合わせ先〉ワークショップいまかね

☎ 0137-82-4001

URL <http://imakane-hikarinosato.com/section/workshop/>

1 農福連携に取り組んだ経緯

平成12年に社会福祉法人光の里の通所授産施設として開設、平成24年の法改正に伴い多機能型事業所となった。

原木しいたけに関する作業は作業種が多く、障がいの程度に合わせた作業内容の設定が可能のため、幅広い利用者が参加できることや、連帯感や協調性の涵養に繋がる連携作業もあることから、障がい者の作業として取り入れた。原木しいたけ栽培は、当所の開設以前から光の里の入所型障がい者更生施設の作業種として取り組んできており、当所の開設に伴い、当該施設の利用者が移行したことから、作業に慣れている原木しいたけを継続した。

2 取組内容

- (1) 就労形態：原木しいたけの栽培（法人所有地のハウス6棟で栽培）、管理、乾燥しいたけ製造販売
- (2) 就労期間：通年
- (3) 就労時間（休憩）/稼働日：8:30～16:30（昼休憩1時間）
/月曜日～金曜日※基本的に土曜日、日曜日休み
- (4) 工賃：平均約22,000円/月
- (5) 送迎：今金町内のほか、せたな町瀬棚区及び北檜山区へ送迎あり
- (6) 昼食 310円/食



3 取組の特徴

- (1) 事業所の主な作業として、原木しいたけ部門と製パン・製菓部門があり、利用者の希望を聞きつつ当日の人数や作業量、利用者の能力に応じて割り振りしている。
- (2) 原木しいたけの作業内容は、植え付けから温度管理、収穫、パック詰めまで一連の作業がある。年間サイクルが見えるため、経験の長い利用者は時期毎に自分の立ち位置を把握した上で作業している。
- (3) 作物相手のため、土日でも作業が必要となるが、希望者が少ないため、少人数でも対応できるようにハウス内にレールを敷設しトロックを利用して原木や収穫したしいたけを運搬できるようにしている。
- (4) 利用者のモチベーションを維持・向上するため、作業能力に応じて10段階評価を行い工賃に差をつけている。

4 障がい者就労への考え方

- (1) 一般就労を目指している利用者のほかにも、年齢的に一般就労をリタイヤして戻ってきた利用者も多いので、生活リズムや体力維持などを主眼としている。
- (2) 複数人で作業を行うことで連帯感や協調性が生まれるので、共同生活の訓練としても有効。
- (3) 利用者の障がい程度に合わせた作業をうまく組み合わせ、やりがいや帰属感を感じられるような仕組みや安心して利用できる環境を継続していきたい。

5 今後の予定や将来展望

- (1) 品質に見合う価格に理解ある消費者に支えられているが、品評会での林野庁長官賞を励みに、工賃の安定的な確保のため現在の販路の維持プラスアルファを目指していきたい。
- (2) 原木を扱う業者の減少やウッドショックの影響から、原木の確保が難しくなっているが、作業量や工賃確保に必要な量を確保していきたい。
- (3) 職員も利用者も高齢化が進んでいるが、施設サービスの質を落とさず利用者のニーズに応えていきたい。

